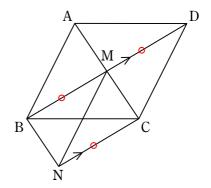
# 中1数学 2019年度 夏期講習 合同とその応用A 本問解答 § 4 平行四辺形条件を使いこなそう

※ 欠席してしまった場合は、問 4.1, 問 4.2 を自分で確認し、p.25 の宿題 H4.1, H4.2 に取り組んで提出してください。余裕があれば全問解きましょう。

# 問4.1

[仮定] ABCD は平行四辺形① BMCN は平行四辺形②	
[結論] CDMN は平行四辺形	



### [方針]

四角形が平行四辺形であることを証明したいなら、まずは平行な辺があるかどうかを確認するのは自然なことです。1組の平行な辺が見つかったら、他方も平行かどうか調べ、それがよく分からない場合には、最初に見つけた平行な2辺が等しいかどうかを考えてみるのが妥当でしょう。

#### 「証明〕

②より	BM // NC	
:.	MD // NC3	
①より	$MD = BM \dots 4$	
②より	$BM = NC \dots 5$	
④⑤より	MD = NC	
36より、1	組の向かい合う辺が平行かつ等しいので	
	CDMN は平行四辺形	(q.e.d.)

# 問4.2

$AP \perp BD$ $BQ \perp AC$ $CR \perp BD$	行四辺形② 3 4 5	P B	R C
<ul><li>[証明]</li><li>△AMP と ∠</li><li>②④より</li><li>①より</li></ul>	$AMP \equiv \triangle CMR$ $\triangle CMR$ において $\angle AMP = \angle CMR$ (対頂角定理) ⑥ $\angle APM = \angle CRM$ (=90°) ⑦ AM = CM 8 $\triangle AMP \equiv \triangle CMR$ (二角一対辺相等)	B	D A.R S C (q.e.d.)
(0)			

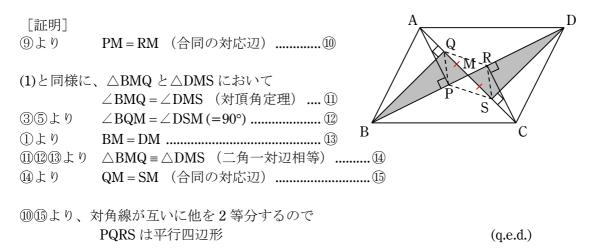
\_\_\_\_D

(2)

[結論]PQRS は平行四辺形

### [方針]

平行四辺形と言いたい四角形の4辺は扱いにくい場所にありますが、対角線はもとの平行四辺形の対角線上にあります。対角線が互いに他を2等分していることを証明する方針が妥当でしょう。



## 問4.3

[仮定]

△PAB は正三角形	①
△QBC は正三角形	2
△RCA は正三角形	(3)

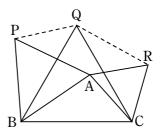
#### [結論]

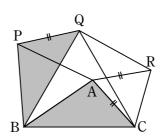
APQR は平行四辺形



△BPQ と△BAC において

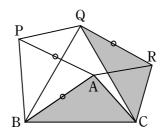
①より	BP = BA
②より	$BQ = BC \dots 5$
また	$\angle PBQ = \angle PBA - \angle QBA$
	= 60° - ∠QBA (①より)
	$\angle ABC = \angle QBC - \angle QBA$
	= 60° - ∠QBA (②より)
<b>⑥</b> ⑦より	$\angle PBQ = \angle ABC$
④5®より	△BPQ ≡ △BAC (二辺夾角相等) ⑨
⑨より	PQ=AC (合同の対応辺)
③より	AC = AR
10(11)より	$PQ = AR \dots 12$





同様に、 $\triangle$ QRC と $\triangle$ BAC において

③より	$CR = CA \qquad $
②より	CQ = CB(14)
また	$\angle RCQ = \angle RCA - \angle QCA$
	=60°-∠QCA (③より)
	$\angle ACB = \angle QCB - \angle QCA$
	= 60° - ∠QCA (②より)16
1516より	$\angle RCQ = \angle ACB$
13(4)(17)より	△QRC ≡ △BAC (二辺夾角相等)®
18より	RQ=AB (合同の対応辺)19
①より	AB = AP
1920より	$RQ = AP \dots 21$



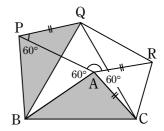
②②より、2組の向かい合う辺が等しいので APQR は平行四辺形

(q.e.d.)

上の方針は単純ですが、二度目の合同を示さずとも、⑫以降を次のようにして⑨の合同のみで証明することもできます。

[証明]

#### (12までは上の証明と同じ。番号は13から振り直しています)



(14)(15)より	$\angle APQ + \angle PAR = \angle QPB - 60^{\circ} + 240^{\circ} - \angle CA$	'R
	$=180^{\circ} + \angle QPB - \angle CAB$	
	$\therefore$ $\angle APQ + \angle PAR = 180^{\circ}$ (13 $\updownarrow$ 1)	
<b>16</b> より	PQ // AR (同側内角定理) ⑰	
1217より	、1組の向かい合う辺が平行かつ等しいので APQRは平行四辺形	(q.e.d.)